

リレートーク

関係機関・多職種の方々のお話をリレー形式で繋いでいきます。



第2回は名古屋市 保健医療課担当からお伝えします。

国民健康保険、後期高齢者医療保険、介護保険のレセプトなどから得られる情報はち丸ネットワークに登載することについては、前号の「はち丸っとvol.9」にて紹介いたしましたが、令和5年1月より保険者との情報連携が始まりました。それにより、同意が得られている患者さんの情報がはち丸ネットワークで確認できるようになりました。今後、患者さんの受診医療機関名、診療内容、傷病名、処方内容、要介護度、サービス提供事業所などの情報が、いつでも閲覧が可能となります。こうした機能により、初診の患者さんや意思疎通が困難な患者さんの治療歴や処方歴が確認できることや、救急搬送時における救急隊との情報共有も可能になり、迅

速に適切な治療が提供できると考えています。また、退院後に在宅療養を行う場合、介護事業者の方に適切なサポートを行うための有益な情報として役立ててもらえるということもメリットの一つです。

現状は、この情報連携に同意された登録患者さんはまだまだ少ない状況です。それではせっかくのシステムも宝の持ち腐れです。まずはより多くの市民の方にシステムを認知していただき、登録者を増やしていくことが必要です。関係機関のみなさまにおかれましては、はち丸ネットワークのさらなる拡充にご協力くださいますようお願いいたします。

在宅医療と介護の連携推進

はち丸っと



多職種向け機関紙

Vol. 10

2023年 早春号

【編集・発行】

一般社団法人名古屋市医師会
はち丸在宅支援センター

はち丸在宅支援センターは、名古屋市医師会が名古屋市委託事業として実施している「在宅医療・介護連携推進事業」及び「在宅医療体制の整備事業」における在宅療養支援窓口として各区に設置しています。はち丸在宅支援センターでは、在宅療養に関する相談対応を始め、多職種連携の推進、在宅医療の体制整備を行っております。

ACP：アドバンス・ケア・プランニングについて、ここ数年で非常によく耳にするようになりました。皆さんも、その名前は聞いたことがある、内容を知っている、という方も多いのではないのでしょうか。さらに、研修会に参加したことがある、意識して取り組んでいるなど、学びを深めながら、実践を進められているかもしれません。

ACPは「本人が将来に向け自分が望む医療や介護のケアについて最善の選択ができるよう、本人主体で医療・介護の多職種や家族等が繰り返し話し合いを行い、本人の意思決定を支援するプロセス」です。ACPIについては、令和元年に発行された「なごや在宅医療・介護連携ハンドブック」にも記載しています。ACPのプロセスは、多職種の連携が無くては成り立ちません。言わば多職種連携のキモ、になるのがACPということから、本会では平成30年から「ACP研修会」を継続的に行っています。

令和元年度に16区で行われた「概論編」では、ACPの考え方と実践への導入についての講義と、実践の中にあるACPの気付きにつながる多職種グループでの意見交換を行い、900人を超える参加がありました。この研修会では、ACPを始めるタイミングが難しい、実践のイメージがつかない等の課題が浮き彫りになり、その後コロナ禍の令和2-3年度に行われた全市対象のWEB研修会でも同様の課題が上がりました。

新型コロナウイルス感染症の影響で2年越しの開催となった、16区WEB開催の「フォローアップ編」では、計400名を超える多職種の参加がありました。アンケートでは「本人の意思決定支援」「記録・情報共有」「多職種との連携（チームワーク・特定職種との連携等）」に実践上の課題が集中していました。こうした課題に対応するためにも、またACPのすそ野を拓げるためにも、今年度もACP研修会を開催します。今一度ACPIについておさらいをする講義と、実践事例の紹介等を予定していますので、初めて学ぼうという方も、今取り組んでいるという方も、是非ご参加ください。

各区はち丸在宅支援センターの連絡先

千種区 ☎052-732-0874	瑞穂区 ☎052-852-0874	名東区 ☎052-760-0874
東区 ☎052-933-0874	熱田区 ☎052-683-0874	天白区 ☎052-800-0874
北区 ☎052-982-0874	中川区 ☎052-354-0874	
西区 ☎052-561-0874	港区 ☎052-652-0874	
中村区 ☎052-481-0874	南区 ☎052-823-0874	
中区 ☎052-201-0874	守山区 ☎052-795-0874	
昭和区 ☎052-763-0874	緑区 ☎052-896-0874	



受付時間：月曜～金曜（祝日・年末年始除く）午前9時～午後5時

はち丸在宅支援センターは、名古屋市から委託を受け、一般社団法人名古屋市医師会が運営しています。

お知らせ
今号の「はち丸っと」はいかがでしたか。おかげさまで、「はち丸っと」は2020年1月に第1号が発行されてから、本号で第10号となりました。引き続き、はち丸在宅支援センターの広報誌として、医療と介護の多職種の皆さまに向けて、当センターが行う事業を分かりやすく発信していきますので、ご愛読よろしくお願いたします。

第10号発行を記念して、ささやかではありますが10名の方に記念品をプレゼントさせていただきます。

下記のQRコードからふるってご応募ください！締め切りは3月31日（金）、当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。皆様さまのご応募をお待ちしております。



令和4年度 ACP研修会

3月4日（土）14：30～15：30（WEB開催）

演題：「今ここからのアドバンス・ケア・プランニング」

講師：国立長寿医療研究センター 在宅医療・地域医療連携推進部長
一般社団法人日本ACP研究会 代表理事 三浦久幸 先生

※本研修会のオンデマンド配信は行いません。



申込者数に余裕がある場合は3月2日まで受け付けております。

参加ご希望の方は、下記までお問い合わせください。

一般社団法人名古屋市医師会 地域包括ケア推進課 電話 052-937-7801

●はち丸在宅支援センターホームページ

<https://zaitakukaigo.nagoya/>



●まるはっちゅ〜ぶ 普及啓発動画「いつまでも自分らしく生きるために」

<https://www.youtube.com/watch?v=AJKKlv3hQ9Y>



ガイドライン活用研修会 (WEB)

「ガイドライン活用研修会」は、令和元年発行の「なごや在宅医療・介護連携ハンドブック～名古屋市における在宅医療・介護連携ガイドライン」の普及啓発と活用促進を目指した研修会です。今年度市内16区で、各区の多職種に向けて開催された研修会の概要をお知らせします。(北区、名東区は3月に開催予定)

★東ブロック

	千種	昭和	守山	名東
テーマ	“入退院時の連携”を考える	ご存じですか？ なごや在宅医療・介護連携ハンドブック	多職種間連携のポイント	入退院時の連携について
出演者(職種)	看護師(病院)	医師、ケアマネジャー	医師、看護師(訪看)	看護師(訪看)、医療ソーシャルワーカー
概要	講義・グループワーク	説明・事例紹介・講義・質疑応答	講義・質疑応答	講義・グループワーク
配信日	2月16日(木)	12月14日(水)	11月29日(火)	3月16日(木)

★南ブロック

	瑞穂	南	緑	天白
テーマ	多職種間の情報共有でよりよい支援に	「在宅療養における多職種間の情報共有」～なごや在宅医療・介護連携ハンドブックから学ぶ～	情報の共有と方針の統一～多職種で1つのチームとなるために～	「なごや在宅医療・介護連携ハンドブック」で学ぶ、連携の方法と共有すべき内容
出演者(職種)	医師	医師	医師、看護師(訪看)	医師、ケアマネジャー
概要	講義・グループワーク	事例紹介・グループワーク・発表	講義・質疑応答	講義・グループワーク
配信日	2月16日(木)	1月19日(木)	11月29日(火)	12月14日(水)

★西ブロック

	中村	熱田	中川	港
テーマ	サービス担当者会議を通じたチーム作り	多職種連携による在宅療養者へより良い支援を！	「失敗事例から学ぶ看取り時の情報提供と多職種連携」～なごや在宅医療・介護連携ハンドブックを用いて～	「はじめの一步」港区における多職種連携
出演者(職種)	ケアマネジャー	医師、歯科医師、薬剤師、看護師(訪看)、医療ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、社会福祉士	医師、看護師(訪看)、ケアマネジャー	医師
概要	講義・グループワーク	座談会	講義・事例紹介・グループワーク	説明・グループワーク
配信日	1月25日(水)	2月16日(木)	1月18日(水)	12月21日(水)

★北ブロック

	東	北	西	中
テーマ	看取り期における医療と介護の連携～介入段階から繋がってます！～	COVID-19によって変化した入退院時の多職種連携を考える	医療と介護の相互理解～円滑な多職種連携を目指して～	看取り期における情報共有を考える
出演者(職種)	医師	医療ソーシャルワーカー、ケアマネジャー	薬剤師、看護師(訪看)	医師、医療ソーシャルワーカー、ケアマネジャー
概要	講義・質疑応答	講義・ディスカッション	講義・質疑応答	説明・事例発表・シンポジウム
配信日	2月18日(土)	3月8日(水)	2月9日(木)	1月28日(土)

今年度も多職種連携を推進するための研修会はWEB開催となりました。コロナ禍でコミュニケーションに制限がある中、どの様に多職種・他機関間で繋がり続け、情報共有をするかを課題とし、地域でどのような実践をしているかを共有、意見交換をする区も少なくはありませんでした。
※開催が終了した区については、参加者アンケートの結果を当センターホームページに掲載しています。

なごや在宅医療・介護連携ハンドブックはこちらからダウンロードいただけます。
<https://zaitakukaigo.nagoya/wp/wp-content/themes/ishikai2021/img/about/hand.pdf>

